

.調査結果とりまとめ

2.現在の運動状況について

貯水位を維持してから現在までの計器変動状況及び地表面の変状から、斜面に作用している浮力と、今後の変動について以下のように予想される。

斜面の変動はほぼ一定の速さで継続している。貯水位は維持されているので、水没斜面には浮力が継続して働いている。  
亀裂現象が確認されてから約3ヶ月経過し、合計2～3cm変位している。このまま変位が累積すると、水没斜面では崩壊が発生する可能性もあり、この場合には変位が加速し、変状範囲全体が滑落する恐れも考えられる。